



様式第9号（第7条関係）

令和2年4月23日

朝日町議会議長 加藤好進 殿

会派名 自民クラブ

代表者名 水野仁士



令和元年度政務活動費に係る収支報告について
（平成31年4月～令和2年3月分）

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項の規定により、別紙
のとおり令和元年度政務活動費収支報告書（平成31年4月～令和2年3月分）
を提出します。

令和元年度政務活動費収支報告書
 (平成31年4月～令和2年3月分)

会派名 自民クラブ

1 収入

政務活動費 720,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	支出額	備 考
調査研究費	579,777	10/23～10/25 視察調査 徳島県三好市、高知県須崎氏、高知県黒潮町、愛媛県松山市 視察調査 3/24～3/25 視察調査 新潟県阿賀野市、新潟県新潟市、新潟県小千谷市 視察調査
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報・広聴費	135,300	自民クラブ通信 Vol.5 発行
事務費		
人件費		
その他の会派活動費		
合計	715,077	

3 残余

4,923 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-1
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	3,240円	支出年月日	令和元年10月18日
支出内容	手土産代 (1,080円×3個)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

領 収 証

自民クラブ

様

No. _____

★

¥ 3,240-

但 品代

内 訳
 現金 _____
 小切手 _____ /
 手 形 _____ /

円 年10月8日 上記正に領収いたしました

収入印紙

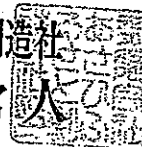
消費税額等(%)

コクヨ ウケ-98

有限会社 あさひふるさと創造社

代表取締役

南 茂 常



※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-2
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,460円	支出年月日	令和元年10月23日
支出内容	高速料金 (朝日→富山)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 富山

お問い合わせは、中日本お客さまセンター
 フリーコール 0120-922-229
 上記番号をご使用になれないお客さまは
 TEL 052-223-0333 (有料)

19年10月23日 6時12分

車種 普通

通行料金 ¥1,460-

(現金)

—入口料金所— 朝日

通行料金は、消費税率10%対象です。
 中日本高速道路株式会社
 愛知県名古屋市中区錦2-18-19
 取扱番号204-00120534-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-3
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	7,450円	支出年月日	令和元年10月23日
支出内容	10/23 昼食代		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

2019年10月23日(水)

領 収 証


3
自民クラブ 様

¥ 7,450 -

預/現計 ¥7,450 (消費税等 ¥677)
(消費税等 677円を含みます)

但し、お食事代として

本格手打 もり家
 香川県高松市香川町川内原1575-1
 TEL: 087-879-8815

担当者 

* 財布等で保管載く場合、印紙面で内側に折って保管願います。 0001-0696

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙


令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-4
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	940円	支出年月日	令和元年10月23日
支出内容	高速料金 (大豊→高知)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

y
 ご利用ありがとうございます。

 料金所では一旦停車してください。
領 収 書
 料金所 高知
 TEL 088-846-5153
 19年10月23日18時26分
 車種 普通
 通行料金 940-
 (現金)
 一入口料金所一 大豊
 通行料金は消費税10%対象です
 西日本高速道路株式会社
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
 取扱番号219-00301805-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-5
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	800円	支出年月日	令和元年10月23日
支出内容	ホテル駐車場代 (高知パレスホテル)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

領収書
 Receipt
 自民クラブ 様

No. 218364

¥800 -

上記正に領収いたしました。
 但、駐車場代

高知パレスホテル
 〒780-0843 高知県高知市廿代町1-18
 TEL 088-825-0100 FAX 088-825-0120



※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

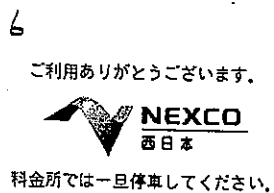
令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-6
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,090円	支出年月日	令和元年10月24日
支出内容	高速料金（高知→須崎東）		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。



領 収 書

料金所 須崎東
TEL 0889-42-6189

19年10月24日10時10分
車種 普通

通行料金 ¥1,090-
(現金)

—入口料金所— 高知
通行料金は消費税10%対象です
西日本高速道路株式会社
大阪府大阪市北区堂島1-6-20
取扱番号211-00150943-00



- ※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。
- ※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-7
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	9,000円	支出年月日	令和元年10月24日
支出内容	視察資料代 (1,500円×6名分)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

7

領 収 証

No. _____

富山県朝日町議会 様

2019年10月24日

★ ¥ 9,000 -

但 視察資料代 (¥1,500×6名様分)として

上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等 (%)

コクヨ ウケ-78

〒785-0058 高知県須崎市
 特定非営利活動法人
 TEL.050-8808



※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-8
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	3,894円	支出年月日	令和元年10月24日
支出内容	10/24 昼食代		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

0001-5653

2019年10月24日木曜日

領 収 証

自民クラブ様

様

¥ 3,894 -

(消費税 ¥288)

但し、お礼金等

手づくりおむすび・玉子焼
高知県須崎市下分乙819-1

(有)ショップたけざき
TEL (0889) 42-4871

担当者



領収証No 2407

*保管上のお願

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙


令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-9
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	590円	支出年月日	令和元年10月24日
支出内容	高速料金 (大洲松尾TB)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

9
 ご利用ありがとうございます。

 料金所では一旦停車してください。
領 収 書
 料金所 大洲松尾TB
 TEL 0893-23-4071
 19年10月24日18時09分
 車種 普通
 通行料金 ¥590-
 (現金)
 通行料金は消費税10%対象です
 西日本高速道路株式会社
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
 取扱番号4903-03-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-10
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,300円	支出年月日	令和元年10月24日
支出内容	高速料金 (大洲→松山)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 証

料金所 松山

TEL: 089-905-1024

19年10月24日18時53分

車種 普通

通行料金 ¥1,300-

(現金)

—入口料金所— 大洲

通行料金は消費税10%対象です

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号229-0011,1818-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-11
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,000円	支出年月日	令和元年10月24日
支出内容	ホテル駐車場代 (カンデオホテルズ松山大街道)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

Guest Name/お名前
自民クラブ 様

領収書 Receipt

金額 ¥ 1,000
Amount Due

上記確かに領収致しました。
We have received your payment.

Issued Date/発行日付
2019/10/24 19:32

Folio/伝票番号
258553

Operator&CRT_No
0007 / 11 0140923



CANDEO
HOTELS

カンデオホテルズ松山大街道
愛媛県松山市大街道2-5-12
〒790-0004
089-913-8866 tel 089-913-8864 fax
www.candehotels.com

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-13
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,460円	支出年月日	令和元年10月25日
支出内容	高速料金 (富山→朝日)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

※

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 朝日

お問い合わせは、中日本お客さまセンター
 フリーコール 0120-922-229
 上記番号をご使用になれないお客さまは
 TEL 052-223-0333 (有料)

19年10月25日22時30分

車種 普通

通行料金 ¥1,460-
 (現金)

—入口料金所— 富山

通行料金は、消費税率10%対象です。

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19


取扱番号210-00012156-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

〒

新富観光サービス株式会社



自民クラブ 様

本社 〒939-8195 富山市上野322 Tel (076) 428-5544
 ハスセンター 〒939-8195 富山市上野322 Tel (076) 429-8448
 高岡店 〒933-0816 高岡市二塚401-1 Tel (0766) 92-2233
 魚津店 〒937-0046 魚津市上村木1-1-10 オセルビル2階 Tel (0765) 24-7110

毎度ありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げます。

受注番号	担当
6028936	久野木 和美

旅行実施日	ご利用額	ご入金額
2019/10/23	434,800	
2019/10/25		

今回ご請求額
434,800

商品名・摘要	数量	単価	金額
ツアー費 (往復飛行機+10/24CANDEO HOTELS 松山大街道)	6	57,000	342,000
宿泊費 (10/23 高知パレスホテル)	6	9,300	55,800
レンタカー	1	33,700	33,700
企画手配取扱料 (保険料含む)	6	550	3,300

ご利用合計額	434,800
--------	---------

取引銀行 北陸銀行越前町支店 (普)1104610
 富山第一銀行富山南ヶ支店 (当) 014442
 富山信用金庫大泉支店 (当) 002586
 三井住友銀行 富山支店 (普)0458570

※お支払いは 月 日までにお願い申し上げます。
 尚、振込手数料はお客様ご負担にてお願い申し上げます。

口座名 新富観光サービス株式会社

調査研究・研修・その他活動 実績報告書

実施年月日	令和1年10月23日～10月25日	会派名	自民クラブ	
活動項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> その他()			
活動参加者	水野仁士、西岡良則、加藤好進、石原孝之、寺西泉、大久保光太 計6名			
経費の項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費			
活動内容等 (視察・会議等の概要・目的・内容・調査結果等)	◎ 徳島県三好市 ・ 目的 祖谷ふれあい公園の視察 ・ 概要 フォレストアドベンチャー建設の経緯、年間利用状況、課題等 ◎ 高知県須崎市 ・ 目的 NPO法人「暮らすさき」の視察 ・ 概要 移住定住対策、課題等 ◎ 高知県黒潮町 ・ 目的 黒潮町の津波避難タワーの視察 ・ 概要 防災対策全般、黒潮町缶詰製作所の設立経緯、課題等 ◎ 愛媛県松山市 ・ 目的 愛媛ふるさと暮らし応援センターの視察 ・ 概要 移住定住対策、「地域おこし協力隊ネットワーク愛媛」設立経緯と活動状況等			
上記活動に 要した経費	支出内容	積算の内訳(支出先等)	支払額	領収書番号
	手土産代	お菓子3個	3,240	1-1
	高速道路料金	10/23 朝日→富山	1,460	1-2
	昼食代	10/23 昼食代	7,450	1-3
	高速道路料金	10/23 大豊→高知	940	1-4
	駐車場代	宿泊ホテル駐車代	800	1-5
	高速道路料金	10/24 高知→須崎東	1,090	1-6
	視察資料代	資料代 (1500円×6名) (NPO法人暮らすさき)	9,000	1-7
	昼食代	10/24 昼食代	3,894	1-8
	高速道路料金	10/24 大洲松尾TB	590	1-9
	高速道路料金	10/24 大洲→松山	1,300	1-10
	駐車場代	宿泊ホテル駐車代	1,000	1-11
	燃料代	レンタカーガソリン代	5,945	1-12
	高速道路料金	10/25 富山→朝日	1,460	1-13
飛行機代、宿泊費、レンタカー代、手数料	飛行機代、宿泊費、レンタカー代、手数料	434,800	1-14	
備考				

令和元年 自民クラブ行政視察研修報告

水野仁士

10/23 1日目 フォレストアドベンチャー祖谷

地形を生かしたダイナミックな空中アスレチック施設で、利用者の年齢は小人10～17歳、大人18歳以上で、中学生以下は保護者同伴となっている。フランス生まれのアウトドアバンクで、自然の立木の上に作られた足場からジップスライで地上まで滑り降りる遊具であるが、このような施設を設けるような場所は果たして朝日町にあるかどうか。

10/24 2日目午前 須崎市 市役所にて

まず、最初にNPO法人『暮らすさき』の活動や設立について説明を受ける。

- ① 2011年4月移住定住支援センター『暮らすさき』の設立により移住定住の促進を図り、人口減少に歯止めをかけ、地域コミュニティを活性化することを目的とし、自然、食、環境に恵まれた須崎を発進することで訪れる人も増えるという考え方の元で発足
- ② 行政、市民、企業、団体の連携強化による体制整備を行う
- ③ 『暮らす先』の法人化

2014年3月理事8名 監事2名 事務局3名で

特定非営利活動法人『暮らす先』設立

取り組みとして相談窓口、情報発信、空き家調査、空き店舗調査・紹介、お仕事支援、交流会、移住定住交流祭開催など短期滞在施設の運営企業支援事業、自然体験活動など

以上、どれをとっても当朝日町で取組んでいる事ばかりだが、NPO法人の設立は魅力がある。

10/24 2日目午後 黒潮町役場にて

松田副町長、小松議長より歓迎の挨拶を受けた後防災対策の視察をする。最大津波予想高3.4メートルの被害想定
の課題に対して地震津波被害者ゼロ、関連死亡ゼロをめざしたまち
づくりに取り組み、併せて地域産業振興対策の一つとして第3
セクター方式で会社を設立し、防災缶詰の製造や普及に取り組ん
でいる。

町内全戸に光ファイバーケーブルを整備し、町営のCATVとインタ
ーネットサービスや告知端末放送と防災行政無線及び各集落へ
衛生携帯電話環境の整備等を行い、また津波対策として住民が避
難できる2.4メートルの高さの塔が6基建っていた。

10/25 午前 松山城見学

以上で視察研修の報告を終わります

朝日町議会自民クラブ
西岡良則

朝日町議会自民クラブ6名は、令和元年度政務活動費を活用させていただき、10月23日から25日までの3日間にわたり徳島県三好市、高知県須崎市と黒潮町、愛媛県松山市において行政視察研修を行ってまいりましたので報告いたします。

【10月23日徳島県三好市 祖谷ふれあい公園】

視察内容 フォレストアドベンチャーについて

フォレストアドベンチャーは自然共生型のアウトドアパークであり、森を生かしながら活用できる環境に配慮した施設です。人の手で植樹されて造成された森は、間伐や草刈りなど人の手により整備をし続けなければ荒廃してしまうため、森とともに生きるためのプロジェクトとして生まれたものです。本格的なツリートップコースは自然の立木の上に作られた足場から、樹間を渡るなどダイナミックな樹上体験ができます。

また、日本初のキャニオンジップスライドは、眼下に美しい祖谷溪が広がり、川からの高低差50メートル、長さ360メートルを超える大迫力のものであり、パーク最大の目玉アクティビティとなっていました。年間2万人の来訪者があり大きな経済効果を挙げているとのことでもあります。

朝日町にも城山、上の山といった素晴らしい自然環境があり、このような施設の設置について調査・検討をする価値があると思われれます。

【10月24日高知県須崎市 特定非営利活動法人暮らすさき】

視察内容 移住定住対策について

視察当日は最初に須崎町議会を表敬訪問をし、須崎議会森田副議長より歓迎の挨拶、町の概要について説明をいただきました。簡単な意見交換を行ったのち視察研修先の「特定非営利活動法人暮らすさき」の事務局長大崎緑さんより移住活動の紹介をしていただきました。

須崎市における現状と課題は人口減少と少子高齢化であり、高齢化率は約30%、少子化率は約20%。地域コミュニティでは地域のお祭りや集まりが減り、何をするにしても高齢者しか集まらない状態。また、中心商店街も空き店舗が目立つなど朝日町と同様の状況であった。こうした状況を打破するために移住促進の取り組みとして2001年4月に移住定住支援センター暮らすさきを設立。2014年3月25日には法人化がなされております。暮らすさきの取り組みとしては、須崎市の情報発信、移住相談、仕事や住まいの相談対応などであり、最近では若い単身・夫婦での移住希望者が多いとのことでありました。

今後の課題としては、生活保護、離婚子育て環境など移住相談が多様化しており専門性が必要になってきているとのことでありました。

視察内容 防災対策全般について

缶詰製作所の設立について

8日の午後には車で移動をし黒潮町を訪れました。黒潮町は人口11,217人と朝日町と同規模の町ですが、最大クラスの南海トラフ地震では最大震度7の揺れが2～3分継続したのち、津波到達1mが8分、最大津波高が34mが想定され、被害は建物被害6,300棟、人的被害2,300人、避難者数が10,000人に上るなど町内全61集落のうち40集落が津波被害の可能性があるとされており。

このことが町が消えてしまう、町民からはあきらめに似た声や”避難放棄者”を多く生み出すような危機感が広まり、犠牲者ゼロを目指した地震・津波対策がとられたものです。思想の基本は「避難放棄者」を出さないことであり、全町民が共有する言葉を決め、「あきらめない」「揺れたら逃げる」「より速く」「より安全なところへ」であります。

防災施策指針の要点は、ハード事業では防災文明の整備として津波避難タワーや避難空間の整備、ソフト事業では防災文化の創造として津波浸水が予測される地区の全世帯の避難行動調査による戸別津波避難カルテづくりや避難所運営マニュアルが作成されております。

防災が地域の「文化」となるよう住民一人一人が防災に対する意識を高め、自らの命と生活を守れるよう、行政がリードしてきた構造を段階的に住民主体性にシフトしていきたいとのことでありました。

朝日町においては、赤川や東草野など海岸集落における津波対策が進んでおらず、今後は住民の安全避難対策を検討していく必要がある。

黒潮町缶詰製作所については、津波予測値からの転出の動きが顕著化し、地元を離れ別の自治体や高台への移転など震災前過疎が危惧された。町にとっては災害より恐ろしい「産業衰退」と「人口減少」であった。そうした中、津波をバネに防災関連産業として「地域資源」のカツオを活用した新しい産業の創造に着手し、設立されたのが黒潮町缶詰製作所である。特徴としては、非常食は、おいしくて、やさしい日(ひ)常食であるべきとして味にも、見た目にもこだわりがある。多くの方に召し上がっていただけるよう、7大アレルギーを不使用。食事を作るように、ひとつひとつ丁寧に手づめで仕上げている。また、社会課題解決型企業を目指しており、支援想定型備蓄として、「自らの備えに」・住民の非常食に・職員、従業員の活動食や帰宅困難対策に「支援物資に」・友好交流都市や関連企業への支援物資に「受入れ対応に」・地域の避難施設としての備えに、など3つの機能を備えており、特にアレルギーに配慮した缶詰製品であることが評価されております。

視察内容 愛媛県の移住・定住対策等について

最終日には松山市内の愛媛ふるさと暮らし応援センターを訪問し、研修をしてまいりました。

愛媛県の現状と課題 本格的な人口減少社会の到来は労働力の不足や市場の縮小等により地域活力が減退しつつあり、少子化対策等に加え、人口の県外流失に歯止めをかけるとともに、大都市圏から地方への人の流れを生み出す必要があることから、U・I・Jターンの促進、愛媛の魅力発信、えひめ暮らし支援を行ってきた結果、平成26年度まで移住相談件数が609件から30年度には3,631件に、また、移住者数も60人から1,715人と驚異的な伸びを示している。この移住対策の内容は次のようなものでありました。

【愛媛県の移住・定住促進施策】

① 積極的な情報発信

- ・ 県単独移住フェアの開催 愛あるえひめ暮らしフェアを東京で4回
大阪で3回開催
あのこの愛媛移住フェアを全市町が参加し東京で1回開催
- ・ 移住ポータルサイト「e移住ネット」の運営
- ・ 女性移住希望者へのPRとして東京FM, 雑誌ターンズを活用した「愛顔のひめターン」のプロモーション

② 切れ目のない相談体制

- ・ 東京、愛媛に移住コンシェルジュの設置
- ・ 先輩移住者、地域おこし協力隊OBなどによる地域移住相談員の設置

③ 就業の促進

- ・ 県内での6泊7日の生活・作業・宿泊体験など、えひめ暮らし魅力体験ツアーの開催

④ 住まいの確保

- ・ 空き家情報バンクの運営
- ・ 市町と連携した住まい確保支援として移住者の住宅改修支援

⑤ 確実な定着支援

- ・ サービス提供可能な民間企業による応援組織として、えひめ暮らし応援隊
- ・ 移住者同士の交流組織として、えひめ暮らし倶楽部

① 主な活動内容

- ・ 地域情報の発信、地域ブランドの創出、特産品の開発、コミュニティ活動支援、観光振興、道の駅運営、インバウンド対策、移住・定住の促進、柑橘・お茶・桃などの農林水産業、起業支援、ジオパーク構想の推進、アート・ビレッジ構想の推進、公営塾講師など多岐にわたっており、しかも協力隊の県内定着率は73.3%と非常に高いものでした。任期終了者60名の内定住者44名であります。

自民クラブ 行政視察研修報告書 朝日町議会議員 加藤 好進

1. 行政視察年月日 2019年10月23日～25日まで

(1) 視察場所 第1日 10月23日 フォーレストアドベンチャー・祖谷 (午後)

第2日 10月24日 須崎市役所 (午前)

10月24日 黒潮町役場 (午後)

第3日 10月25日 えひめ地域政策研究センター (午前)

(2) 視察事項 徳島県三好市 ①空中アスレチック施設について

高知県須崎市 ①創業支援計画策定と創業希望者の支援について

②NPO法人「暮らすさき」について

高知県黒潮町 ①防災対策全般について

②缶詰製作所の設立までの経緯と生産、加工、販売などについて

愛媛県松山市 ①愛媛県の移住・定住対策等について

②地域おこし協力隊ネットワーク愛媛の設立経緯と活動状況について

③在任中の地域おこし協力隊員の地域への参画と、隊員と地区のかかわりについて

④地域おこし協力隊員の、任期終了後の定住について

2. 概要

第1日 徳島県三好市「空中アスレチック施設」について

対応者：マネージャー 水谷 凌

フォーレストアドベンチャーとは、1997年フランス・アヌシー郊外でアルタス社がはじめたアウトパークの名前で、当初スイスの企業研修用に作った施設が、評判がよかったため一般に開放し、その後フランス国内で人気を広がり、現在この類の施設が世界中に広がっている。

日本では、パシフィックネットワークはアルタス社と業務提携を結び全国30か所以上で事業を展開しており今後も増設が期待されている。

所感

この施設の最大の特徴は森を森のまま利用できることである。一般的なレジャー施設を作ろうとすると、大規模な開発が必要となるが、フォーレストアドベンチャーは環境への負荷を最低限に抑えることができ、全国の森に施設が増えている。森が違えばまったく違った施設を作ることができ、人気度が高い。当町においては、オートキャンプ場、ヒスイ海岸パークゴルフ場のレジャー施設と近隣する城山から上の山台地、棚山ファミリーランド付近が候補地と考える。

自然資源を観光や産業化に向けて結びつけて交流人口の拡大に向けて、検討をする価値はあると思う。

第2日 高知県須崎市「NPO法人 暮らすさき」について

対応者：須崎市議会 副議長 森田 収三

気創造課 元気創造係 係長 有澤 聡明

議会事務局長 大崎 緑

昭和29年10月1日、須崎町を中心に隣接する多ノ郷村、浦ノ内村、吾桑村、上村村の5町村が合

併して、市制を施行している。主要産業でもある一次産業の漁業では沿岸漁業やカンパチ、鯛、ハマチなどの養殖漁業、また、農業では、ハウス栽培によるミョウガ、キュウリ、ピーマン、シシトウ、花卉などが主要作物であり、特にミョウガ栽培は、全国シェア1位となっている。

また、須崎港は国の重要港湾に指定されており、貿易港として貨物の取り扱い量は県内一であり、主な取り扱い貨物はセメントや木材が中心となっている。

昭和30年代の初めの人口は約35,000人程度でしたが、平成31年3月31日現在の、人口は21,641人、世帯数10,767世帯と少子高齢化が進行しており、地域の活性化に向けて、人口減少対策、移住支援、公民館活動、地域おこし協力隊員、地元若者の支援などに取組み、2011年4月移住定住支援センター暮らしさきを設立、その後2014年3月「NPO法人 暮らしさき」を設立し、過疎化に歯止め目をかけ、地域コミュニティの再生や文化、産業の活性化、交流人口の増加などを目的に活動している。

所 感

朝日町の移住・定住施策と大きな差異はないと感じた。しかし、近年は移住相談だけではなく、定住相談が増えてきており、移住者の傾向としては関西からのIターン、若い世代のUターンや単身の移住者が多くなっている。これは、高知県内6団体のNPO法人等の事務局が終結し、移住促進を高知県全体で盛り上げている成果の表れと思われる。

当町の移住定住拠点施設こすぎ家は企画振興課が携わっているが、即決決断、スピーディーな行動ができるNPO法人化に向けて考えると共に富山県や県内自治体と連携強化を図る必要がある。

高知県黒潮町「防災対策全般」について

応対者：黒潮町	副町長	松田 晴喜
黒潮町議会	議長	小松 孝年
産業推進室	室長	門田 正史
情報防災課	課長	徳廣 誠司
産業推進室産業推進係長	友永 公生	
議会事務局長	小橋 和彦	

黒潮町は、平成18年に「旧佐賀町」「旧大方町」の合併により誕生した町で、人口は約11,200人、世帯数約5,500世帯、海岸線約35km、当町と良く似ている自治体である。

2012年に、南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の推計が、内閣府及び高知県から公表された。その内容は、最大震度7、最大津波高34mと日本一厳しい数字であり、黒潮町にとっては、衝撃的なものであり、多くの住民から「あきらめ」の声が聞こえ、津波からの避難そのものをあきらめる、「避難放棄者」を多く生み出す危機感が広がる。

それよりも、自分達の住んでいる町の歴史を知り、幾度となく繰り返された過去の南海地震の甚大な被害からも、あきらめず「ふるさと」を再生していた先人の営みに思いを寄せ、現在の科学的知見による地震・津波のメカニズムを理解し、一人の犠牲者も出さないための防災計画と対策事業を見直してきた。防災計画は「避難放棄者」を出さないという基本理念をもって構築されており、最大津波波高34mの町で犠牲者ゼロをめざす20の指針を推進している。

所 感

「犠牲者ゼロ」を目指すためには、防災・減災が生活の中に文化として取り込んでいかなければならない。しかも、ソフト事業やハード事業がバランスのとれた「防災に強いまちづくり」を推進し

ていかなければならない。全町民が共有する「あきらめない」「揺れたら逃げる」「より早く、より安全なところへ」の言葉には、津波に対する一人ひとりの防災意識を高めるとともに、自らの命と生活を守れるよう行政がリードしてきたことが、段階的に地域や町民が主体性を持って防災対策を真剣に進めている。当町においても、地震、豪雨、台風など自然災害の可能性が懸念され、防災計画の見直しをはじめ、防災対策の基本である「自助」「共助」「公助」が互いに連携し、東日本大震災で思い知らされた教訓に深く学び、災害に強いまちづくりを進めていくことが重要である。

第3日 愛媛県松山市「移住・定住対策等」について

対応者：所長 豊田 秀樹
主任研究員 坂本 清幸
移住コンシェルジュ 板垣 義男

日本は少子高齢化が加速する中、依然として東京圏に人口が一極集中している。愛媛県においても本格的な人口減少社会が到来しており、平成12年4月に「財団法人 えひめ地域政策研究センター」を設立。その後平成24年4月公益財団法人に移行し次の4つの事業を展開している。

- ①地域政策やまちづくりに関して総合的に調査研究ならびにそのデ成果の公表及び政策提言事業
- ②意識啓発及び人材養成事業
- ③活動支援及び交流促進事業
- ④移住・交流支援事業

など、活力ある地域づくりを目指している。

今後の少子化対策等に加え、人口の県外流出に歯止めをかけるとともに、大都市圏から地方への人の流れを生み出す必要から下記の「移住・定住促進対策等」に取り組んでいる。

①積極的な情報発信

- ・県単独移住フェアの開催・移住ポータルサイトの運営・「愛顔のひめターン」プロモーション（女性移住希望者）

②切れ目のない相談体制

- ・移住コンシェルジュの設置・地域移住相談員の設置

③就業の促進

- ・えひめ暮らし魅力体験ツアー（県内6泊7日の生活、作業、宿泊体験）

④住まいの確保

- ・空き家情報バンクの運営・移住者の住宅改修支援

⑤確実な定着支援

- ・えひめ暮らし応援隊（民間企業の応援組織）・えひめ暮らし倶楽部（移住者同士の交流組織）

これらの実績としては

- ・移住実績 平成19年度 40人 → 平成30年度 1,715人
 - ・相談件数 平成19年度 442件 → 平成30年度 3,631件
 - ・年代移住割合：20代（25%）30代（18%）40代（12%）と若い人達が多い
 - ・転入元移住割合：東京都（13%）大阪府（12%）兵庫県（7%）大都市圏からの転入
- ※地域おこし協力隊の活動状況【平成21年～令和元年（9月1日現在）まで】
- ・導入市町村数 平成21年 0市町村 → 令和元年 18人
 - ・隊員数 平成21年 0市町村 → 令和元年 102人

- ・県内の定着率 73.3% (平成29年9月総務省調査)
(任期終了者数60名 → 定住者数44名)

と着実に成果が出ている。

これは、「移住・交流支援事業」の移住相談窓口「愛媛県ふるさと暮らし応援センター」を運営し、専任職員「えひめ移住コンシェルジュ」を中心に、移住に対する個別相談や助言、フェアやイベントの開催など、移住コンシェルジュのきめの細かいサポートや協力隊のネットワークづくり、起業・就農・就職について、愛媛県で働く人を各自治体の支援策でバックアップしている。

所 感

当町においても、現在地域おこし協力隊員16名は朝日町の活性化に向けてそれぞれのプロジェクトに取り組んでおり、町の支援策も愛媛県の各自治体と比較しても大きな差異はない。

しかし、行政機関、金融機関、民間企業と「オール愛媛で移住・定住」に取り組んでいることが、地域の活力づくりに結びついている。今後、当町においても地域おこし協力隊員の任期終了者の定住に向けては、隊員にあったサポート、富山県や民間企業、地元住民の理解と協力体制を構築していくことが重要である。

四国行政視察研修報告書

朝日町議会自民クラブ 石原孝之

1. 行政視察行程 令和元年10月23日(水)～10月25日(金) 3日間
2. 視察先/視察目的
 - ・1日目 10月23日(午後) 高知県三好市西祖谷山村尾井ノ内
フォレストアドベンチャー祖谷(いや)
ジップライン・ツリーアスレチックなどの施設について
 - ・2日目 10月24日(午前) 高知県須崎市役所 NPO法人「暮らすさき」
 - ・創業支援計画策定に取り組んだ経緯について
 - ・NPO法人 暮らすさきについて10月24日(午後) 高知県黒潮町役場
 - ・防災対策全般について
 - ・黒潮町缶詰製作所の設立までの経緯と生産・加工・販売について
 - ・3日目 10月25日(午前) 愛媛県庁 地域おこし協力隊ネットワーク愛媛
 - ・愛媛県の移住対策について
 - ・地域おこし協力隊ネットワーク愛媛の設立経緯と活動状況について

3. 視察内容

1日目 高知県三好市西祖谷山村尾井ノ内 フォレストアドベンチャー祖谷(いや)
(午前) ジップライン・ツリーアスレチックなどの施設について

2017年にオープンした四国で人気の観光地、祖谷(いや) 峡にあるフォレストアドベンチャー。傾斜地を利用したダイナミックなツリーアスレチックや一級河川の祖谷溪谷のエメラルドグリーンの祖谷川を眼下に、高低差50メートルを超えるジップラインは国内トップクラスです。

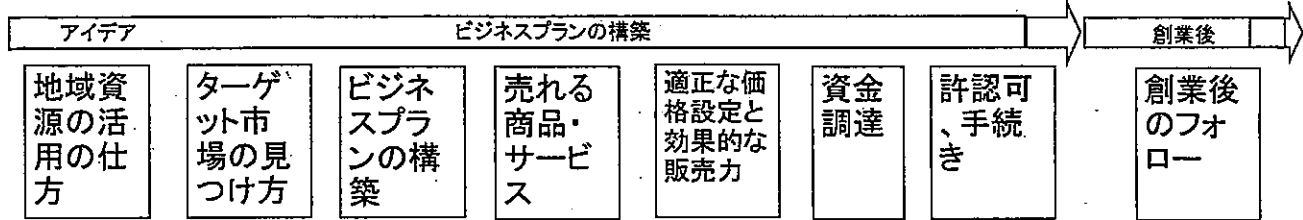
ロープや丸太を使った31種類のアクティビティは、地上10メートルの樹上のコースを専用ハーネスをつけて自分自身で安全を確保しながらコースを進んでいきます。安全講習や練習コースで用具の使い方をしっかり学ぶので初めての方も安心して体験する事ができます。

自然共生型アウトドアパークとして、森を生かしながら活用できる環境に配慮した施設となっております。人の手で植樹された森は間伐や草刈などの整備をしなければ荒廃していきます。森とともに生きる為のプロジェクトとして出発したフォレストアドベンチャーは、林野庁の「森林山業創出支援総合対策事業」の優良プランに認定されております。

朝日町にも山や海に囲まれた大自然があり、このような施設があると県内外からの利用客が見込まれるのではないかと思います。朝日町の観光スポットとして可能性があるのではないかと考えます。

2日目 高知県須崎市役所 NPO法人「暮らすさき」
 (午前) 創業支援計画策定に取り組んだ経緯及び計画について
 NPO法人「暮らすさき」について

須崎市では、須崎商工会議所や高知県との連携により創業支援を強化する事で、年間2件の創業の実現を目指し、平成28年度～令和5年にかけて創業者に対する相談窓口の設置や創業に向けて各段階での支援、創業後のフォローの実施計画が立てられております。年間目標は創業支援者件数延べ42人、創業者数5人。



須崎市の人口は25,000人。昭和55年の32,000人から1万人近く人口が減少。この人口に歯止めをかける為平成18年より移住促進事業を開始。そこで移住だけではなく「定住」にも視点をおき、人口の減少に歯止めをかけ、地域コミュニティ活性化にも貢献するため、「移住定住センター暮らすさき」が設立されました。その後、2014年にさらに活動の幅を広げ飛躍するために、特定非営利団体(NPO法人化)として開始。

〈主な事業〉

移住定住者の相談窓口	電話やメール、移住相談会への参加	最近若い単身・夫婦の移住希望者が多い
WEB上での情報発信	公式HP、フェイスブック、情報誌発行	問い合わせの多くはHPをみて。関西や関東が多い
空き家調査	得られた情報は写真付でHPに掲載	最近家主側からの連絡が増えている
空き家をもっと活用できるように	2013年から住環境整備事業開始	改修補助金一軒あたり182,400円(耐震改修必)
交流会・懇談会の開催	行政×地元住民×移住者の交流	年3回、女子会・BBQ・新年会を実施
短期滞在型施設の運営	2017年までの利用者71組158名	須崎市への移住者5組8名
企業支援事業	須崎流起業塾の開催	起業を考えてもらうセミナーを開催
暮らしのねっこ運営	素泊まり施設として2018年4月開始	2018年利用者数92組258名稼働率約53%

〈課題〉

移住相談の多様性、専門性	生活保護、離婚、夜逃げ、子育て環境
移住者の暮らし方	家賃滞納、近所付き合い
増え続ける空き家	活用されないまま朽ちていく
家主の高齢化	亡くなる家主、相続問題
受け入れ側の地域の理解	もう少し理解が進めばよいのだが
活かしていない地域の資源	加工や商売につながらない

2018年4月に素泊まり施設としてオープンした「暮らしのねっこ」は、須崎市青木にある上原八蔵邸は、昭和初期以前に高知の伝統工法により建てられた2階建ての店舗併用住宅です。空き家となっていたこの建物を活用しようと須崎市が大規模な改修を行い、2017年11月の公募により暮らすさきが、須崎での暮らしを体験してもらい、移住くれる人が増えたら、など様々な想いからこの施設を運営することになりました。そんな暮らしに根付いた取り組みを行う施設として、「暮らしのねっこ」はオープンしました。

クラウドファンディングによる資金調達を行い上原邸の改修費用として使いたいと支援のお願いをしました。

2018年1月31日には、目標金額の150万円を上回る支援総額240万が集まったそうです。

暮らすさきが掲げているミッションは、「須崎の人口減少をゆるやかにすること」とのことでした。

人が減り、若者がいない、元気のない町にはしたくはない。もう増えることはない。移住促進をすることによって出ていく人も多いけど、入ってくる人もいる状態を作れば、人口減少をゆるやかにできるのではと考えている。との事でした。

朝日町においても、人口減少や高齢化が進んでいく中で、空き家を活用した移住定住の促進を今まで以上にを行い、元気のある町づくり、夢と希望がもてる町づくりに、よりいっそう力を入れる必要があると考えます。

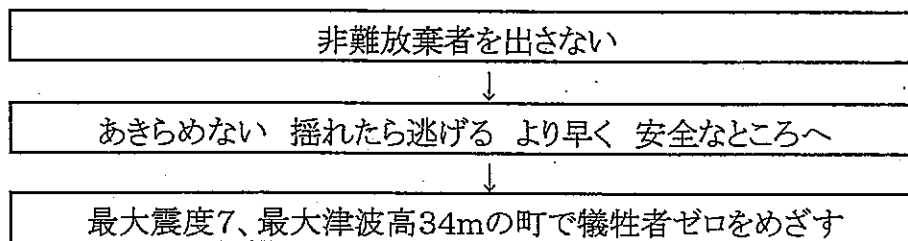
2日目 高知県黒潮町役場
(午後) 防災対策全般について
缶詰製作所の設立までの経緯と生産、加工、販売などについて

高知県幡多郡黒潮町は人口11,162人、世帯数5,518世帯(2019.9.30現在)
延長約35kmの美しい海岸線を有する町です。

東日本大震災発生から1年後の2012年3月31日黒潮町に突き付けられたことは、
予想される南海トラフ巨大地震(内閣府会議予測)

- ・最大震度「7」の揺れが2～3分
- ・津波到達(1m)8分 最大津波34.1m
- ・物的被害(建物被害)6,300棟
- ・人的被害 2,300人
- ・1日後の避難者数 10,000人
- ・町内全61集落のうち40集落が津波被害の可能性

突然の発表に町民からはあきらめに似た声、「非難放棄者」を多く生み出すような危機感が広がった。
そこで取り組んだのが、



津波が到達する予測時間内に高台に避難できない地区の解消を目的として町内6地区に津波避難タワーの建設を行い、平成28年度末に全タワーの建設が完了している。

この津波避難タワー6基の総収容人数は1,020人。いちばん高いタワーで地上から22mの所での避難が可能となっている。

黒潮町のこれからの取り組みは、住民一人一人が防災に対する意識を高め、自らの命と生活を守れるよう、行政がリードしてきた構造を段階的にシフトしていく、住民主体の防災活動へシフトチェンジをしていくことが最終目標である。「防災が地域の文化」となること。

地震対策への取り組みには、町内がひとつになりさまざまな方向性を持って「犠牲者ゼロ」の信念が伝わってきました。

災害の少ない朝日町においても、いつ起こるかわからない災害にしっかりと備えておかなければならないと感じました。「想定外」との言い訳だけは言ってはならない。

株式会社黒潮町缶詰製作所 第三セクター 従業員18名(正社員4名 パート14名)

売上高9千百万円(平成30年度)

企業使命:ミッション「誰もが幸せになれるよう おいしい やさしい 安心 安全な食を提供します」

「地域資源」を活用した新しい産業の創造に着手

黒潮町出資比率が75%の第三セクターで、2014年3月に発足。特産品の加工及び販売や防災関連食料品の製造や販売を行っている。

地元の新鮮で安心安全な食材を一つ一つ丁寧に手作業で缶詰をつくりあげています。

東日本大震災では支援物資がアレルギー対応ではなく、食事に困る人や、誤って食べて症状が出てしまう人が相次いだとのことから、食物アレルギーを持つ人でも安心して食べられるように、原材料に7大アレルゲンを使用しない、混入しない、工場に持ち込まないを厳重にチェックし、多くの方に安心しておいしく食べていただける缶詰を真心込めてつくっています。

非常食は、おいしくて、やさしい、日(ひ)常食であるべき。だから、味にも。見た目にもこだわります。

この言葉には、重みがありました。避難所での食事は、食べられるだけいい、あるだけまし。長期避難生活では栄養の偏りにより体調を崩す。だからこそこれからは、高齢者、栄養バランス、アレルギーにも配慮した日(ひ)常食を常備する必要があると気付かせていただきました。

3日目 愛媛県庁 地域おこし協力隊ネットワーク愛媛

(午前) 愛媛県の移住対策について

地域おこし協力隊ネットワーク愛媛の設立経緯と活動状況について

愛媛県の現状は、1985年の約135万人を境に減少し、2040年には約107万人まで減少との推計されています。出生数の減少や県外への転出が多くなっているのが現状です。このまま人口減少が続くと、働く場所が減っていき、働く人も減っていき経済の衰退が懸念され生活に深刻な影響が出てくるとのことでした。「たくさんの方が住み、訪れる魅力ある愛媛づくり」の創生総合戦略のひとつに「移住・定住の促進」があり、市町や関係団体と連携し、地域を支える担い手を呼び込み、移住者に細かく対応取り組みを行い移住定住を促進を行った結果、平成30年度は移住者1,715人、相談件数においては3,631人となり成果を発揮しております。

『移住定住促進施策』

・積極的な情報発信

・移住フェアの開催 愛あるえひめ暮らしの開催(東京4回・大阪3回)

あのこの愛媛移住フェア(東京1回)

・移住ポータルサイト「e移住ネット」の運営

・「愛顔のひめターン」プロモーション(女性移住希望者へのPR)

『切れ目のない相談体制』

・移住コンシェルジュの設置(東京・愛媛)

・地域相談員の設置(先輩移住者・地域おこし協力隊OBなど)

『就業の促進』

・えひめ暮らし魅力体感ツアー(県内での6泊7日の生活、作業、宿泊体験)

『住まいの確保』

・空き家情報バンクの運営

・移住定住の住宅改修支援(市町と連携した住まいの確保支援)

『確実な定着支援』

・えひめ暮らし応援隊(サービス提供可能な民間企業による応援組織)

・えひめ暮らし倶楽部(移住者同士の交流組織)

愛媛県内18市町には令和元年9月現在102名の隊員が活動を行っています。男女5対5の比率

『主な活動内容』

・地域の情報発信、地域ブランドの創出、特産品の開発

・コミュニティ活動支援、観光振興、道の駅運営

・農林水産業(柑橘、茶、桃、林業、水産業)

・公営塾講師

県内への定着率は73.3% 任期終了者数60名の44名が定住

えひめ移住コンシェルジュの板垣義男さんのお話では、協力隊員が地元とのつながりをうまくやっているところもあれば、やっていないところもある。しっかりとコミュニケーションをとっていかなくてはいけない。田舎暮らしの楽しみ方働き方を見つけられるかどうかにもよる。具体的なミッションを持ってないと意味がない。またコンシェルジュの役目として、県内全ての地域おこし協力隊の現状を把握しなくてはならない事や、それぞれの隊員の状況に応じて対策をしていかなくてはならない。と言っていました。

朝日町においても、任期中における協力隊の状況を把握しアドバイスなどをしっかりと行う事も大事ではないかと考えます。隊員各々のミッションを確認する事も、隊員の為にも必要なのではと思います。

自民クラブ 行政視察研修報告書

朝日町議会議員 寺西 泉

1 行政視察の日程及び視察内容 令和元年10月23日(水)～25日(金)

(1)10月23日 午後 徳島県三好市祖谷ふれあい公園

フォレストアドベンチャーについて

(2)10月24日 午前 高知県須崎市役所、NPO法人「暮らすさき」

移住定住対策について

(3)10月24日 午後 高知県黒潮町役場

防災対策について、黒潮町缶詰製作所の設立について

(4)10月25日 午前 愛媛県松山市 愛媛ふるさと暮らし応援センター

移住定住対策について、地域おこし協力隊員の活動について

2 所感

(1) 徳島県三好市祖谷ふれあい公園

フォレストアドベンチャーとは、森の中の空中を渡っていくフランス発祥のアウトドアパークである。自然の樹木や地形を生かし、環境への負荷を最低限に抑えつつ環境に配慮した自然共生型施設と言える。日本では、2006年8月に富士山麓の標高1,100mの森に開設して以来、現在国内31か所に展開している。富山県近隣では、新潟県湯沢町、長野県長野市、茅野市、松川町に展開している。フォレストアドベンチャー祖谷には、川からの高低差50m、長さ360mの日本初のキャニオンジップスライドがあり、年間2万人の来訪者がある。

朝日町には城山があり、ヒスイ海岸に向けて一気に下りるジップスライドが建設されれば、町内の観光施設との相乗効果が期待され、観光客の飛躍的な増加が見込まれる。町活性化を図る施策として調査・検討する価値があると考えます。

(2) 高知県須崎市役所、NPO 法人「暮らすさき」

須崎市における課題は人口減少と少子高齢化であり、高齢化率は約 30%、少子化率は約 12%である。さらに地域コミュニティでは地域の祭礼や集まりが減少し、何をするにしても高齢者しか集まらず、中心商店街には空き店舗が目立つ状態となっている。このような状態を打破するために移住促進の取組として 2011 年 4 月に「移住定住支援センター暮らすさき」を設立し、2014 年 3 月には特定非営利法人化がなされた。取組み内容としては須崎市の情報発信、移住相談、仕事や住まい相談等や交流会(行政と地元住民、移住者の交流)、移住定住交流祭り、すさき暮らしツアーの開催を行っている。

担当者が「みんなで楽しく出来ることからコツコツと」と言われた言葉が印象的であった。今後、移住定住施策には、生活保護、離婚、子育て環境等の相談に対処する専門的な知識が必要となることも予想される。朝日町においても同様であり、行政の積極的な支援が今まで以上に必要になってくると考える。

(3) 高知県黒潮町役場

黒潮町は国が発表した南海トラフ巨大地震の被害想定において、「最大震度 7」「最大津波高 34.4m」「沿岸の津波到達時間 2分」という絶望的な数字を突き付けられた人口 11,217 人の小さな町である。この想定に対して町には絶望と諦めのムードが漂い、高台の土地へと転出者が増え、残る者の中には逃げないことを選択する高齢者もいたのは事実である。震災前過疎を前に「犠牲者ゼロ」を目標とした防災まちづくりを開始した。ソフト事業では防災文化の創造として、津波浸水が予想される地区の全世帯の個別津波避難カルテや避難所運営マニュアルの作成、ハード事業では防災文明の整備として津波避難タワーの整備を行った。

朝日町においては海岸に接する集落における津波対策が不十分であり、今後は、住民の安全対策を早急に検討する必要があると考える。

黒潮町缶詰製作所は、震災前過疎を通した「産業衰退」と「人口減少」に対抗するための防災関連産業として地域資源のカツオを活用した新しい産業の創造に寄与する施設として設立された。ロゴマークにあえて「34M」という津波の高さを入れることで「犠牲者ゼロ」決意の証としている。また「7大アレルギー不使用」を徹底することで避難所におけるアレルギー疾患の食事問題の解消を図っている。他市町村が黒潮町の防災缶詰を備蓄し被災地へ送るというストックネットワークも広がりつつある。

(4) 愛媛県松山市 愛媛ふるさと暮らし応援センター

愛媛県においては、本格的な人口減少の到来により、労働力の不足や市場の縮小等を通して地域活力の衰退が顕著となってきた。さらに、少子高齢化や人口の県外流出が進み地域コミュニティの衰退に拍車をかけているのが現状である。そこで、大都市圏から地方への人の流れを生み出す必要があり、U・J・Iターンの促進、愛媛の魅力発信、えひめ暮らし支援を行ってきた結果、愛媛県への移住者が平成26年度の60人から平成30年度には1,715人と驚異的な伸びを示した。愛媛県における移住定住促進施策は以下の通りである。

① 積極的な情報発信

- ・ 県単独移住フェアの開催(東京4回、大阪3回)
- ・ 移住ポータルサイト「e移住ネット」の運営
- ・ 女性移住希望者へのPRとしてFM東京、移住者向け雑誌ターンズとコラボした「愛顔のひめターン」のプロモーション

② 切れ目のない相談体制

- ・ 東京と愛媛に移住コンシェルジュの配置
- ・ 先輩移住者や地域おこし協力隊OBによる移住相談員の配置

③ 就業の促進

- ・県内での6泊7日の生活・作業・宿泊体験等のえひめ暮らし魅力体験ツアーの開催

④ 住まいの確保

- ・空き家情報バンクの運営
- ・市町と連携した住まい確保を目的とした移住者の住宅改修支援

⑤ 確実な定着支援

- ・サービス提供可能な民間企業による応援組織として「えひめ暮らし応援隊」
- ・移住者同士の香料組織として「えひめ暮らし倶楽部」

愛媛県内の地域おこし協力隊員の数は、令和元年9月1日現在、108名である。主な活動内容は以下の通りである。

- ・地域の情報発信、地域ブランドの創出、特産品の開発
- ・コミュニティ活動支援、観光振興、道の駅運営
- ・インバウンド対策、移住・定住促進
- ・農林水産業(柑橘、茶、桃、林業、水産業)
- ・起業支援
- ・ジオパーク構想の推進
- ・アート・ヴィレッジ構想の推進
- ・公営塾講師

地域おこし協力隊員の任期終了後の県内定着率は73.3%(全国平均63%)であり、朝日町においても任期終了後の定着率向上に向けた施策について調査・検討する必要があると考える。

自民クラブ 行政視察研修 報告書

令和元年10月23日（木）

徳島県三好市 祖谷ふれあい公園（フォレストアドベンチャー祖谷）

朝日町において豊かな自然を生かした観光産業を推進していくために、ジップラインの先進地域である徳島県三好市にあります祖谷ふれあい公園の中にあるフォレストアドベンチャー祖谷の現地視察を行いました。ここの施設は自然共生型アウトドアパークとして、森林をそのまま活用した公園造りとなっています。ここでのジップラインは傾斜地をそのまま利用し、一級河川である祖谷川をジップスライドで渡り、その長さは360mを超えるロングジップで国内トップクラスとなっています。基本料金は大人4,000円となっており、私達からすれば少し割高のような思いもありますが、実際は年間を通じて多くの家族連れが体験しにきているということでした。体験型観光事業としても上手く運営でき、自然と触れ合う子供達にも良い教育ができ、家族や仲間たちとの絆をより一層強くしてくれる良い循環が生まれていると感じることができました。また、働くスタッフも全て若い世代で運営しており雇用の環境も生み出している現状であり、こうした自然を利用した施設については当町にも開設していく値は十分にあると考えています。そうした中で問題点も見えており、四国と北陸の違いである冬季間の管理についてはワイヤーロープの管理方法など検討課題が発生するのが現状であり、富山ならではの課題を解決していきながら、議論を進めていくべきだと考えます。

令和元年10月24日（金）

高知県須崎市 須崎市役所、NPO 法人暮らすさき

高知県須崎市は人口約21,000人の自治体であり、産業別の人口割合は一次産業が約19%、二次産業が約18%、三次産業が約59%、ほかその他という構成になっており、一次産業に従事する割合が多く、当町との差を感じました。交通インフラにおける道路整備も充実しており、高速道路がつながり、国道も何本も整備され、県道についても周囲の自治体としっかり繋がっており、物流や人口の流れが活発に機能している素晴らしい環境が整っていると感じました。市役所庁舎においては須崎市の概要から予算編成、議会の運営状況まで担当者より教授いただき、活発な意見交換をさせていただきました。次に、須崎市で移住定住のサポート業務を担っているNPO法人「暮らすさき」の事業所に市職員の担当者と一緒に訪問させていただきました。暮らすさきでは移住を考えている方々のサポートや空き家の情報提供、古民家を再生してのゲストハウスなど須崎市に関係する人達のバックアップを務め、市外からの移住やUターンの受け皿として業務を担っていました。朝日町においても今後の人口増加に努めるためにも、専用の法人を設立し業務に専念できるような環境を用意していく必要があると感じました。こうした須崎市のような先進地をしっかりと学び、

真似をしていく方法は十分に効果を発揮すると考えるので、見習っていきたいと思います。

令和元年10月24日(金)

高知県黒潮町 黒潮町役場

黒潮町は平成18年に「旧佐賀町」と「旧大方町」の合併により誕生した町であり、人口約11,200人の海岸線に面した町であります。黒潮町は津波災害における対策を町を挙げて行っており、最大予想津波高3.4mという数字を弾き出されたとして、危機感を強めている現状でした。思想の基本を「避難放棄者」を出さないとし、「あきらめない、揺れたら逃げる、より遠く、より安全なところへ」とした全町民が共有する言葉を決め、犠牲者ゼロを目指している自治体であります。6つの地区で津波避難タワーを建設し、役場庁舎も山を切り開いて高台に移転するなど、町政運営の本気度がしっかりと伝わってくる政策であり当町においても自然の風雨災害や豪雪災害に対して充分過ぎるくらいの安全対策が必要であると痛感させられました。黒潮町では災害対策の一環として独自の缶詰制作事業も展開しており、町が筆頭株主である第3セクター方式で備蓄用の食料や7大アレルギー不使用の材料による未来の可能性に挑戦しています。こうした取り組みは消費者の安全と食の大切さをダイレクトに伝えることができ、全国展開することで各自治体の備蓄用食料として大きな需要が見込める有益な6次産業事業であると考えられます。しかし、こうした事業の成功にはやはり地元で調達できる豊富な原材料が必要であり、朝日町のような原材料に乏しいところでは多くの課題が浮き出てくるのが現状であり、簡単にできるものではないとの分析が成り立ちます。それでもこのような先進地で当町に無いものを学び、実体験をすることにより百聞は一見にしかずの実践を行い、新しい発想に繋げていきたいと思います。

令和元年10月25日(土)

愛媛県松山市 愛媛県庁、愛媛地域政策研究センター

愛媛県は地域おこし協力隊が大変多く活動し、任期を終えた後でも定住に繋がる協力隊が多くいて、当町においても課題であります4年目からの定住にどのような施策を展開しているのかを学びに行きました。ここ松山市の地域政策研究センターでは地域おこし協力隊のOBがセンターの代表を務めておられ、松山市を拠点に愛媛県内18市町におられる地域おこし協力隊とグループを形成し、常に連絡を取りあえる環境を設けています。そうした事業には切れ目のない相談体制や就業の促進、住まいの確保、確実な定着支援といった活動をされており、現在では102名の協力隊が県内で活動し、これまでに任期が終了した60名のうち、44名の定住者がありその定着率は73%という素晴らしい結果を出しております。これは当町にとっても大変刺激になる数字であり、非常に参考になりました。やはり人を繋げるのは人であり、専属で業務ができる人材の配置が何よりも基本になると学ばされました。こうした業務にはNPO法人といった環境が大変重要であり、日頃から全ての地域おこし協力隊と繋がっていることが大切であり、当町にはまだこのようなシステムが確立されていな

いので、これから是非ともこうした愛媛県の取組みを実践していかなければいけません。せっかく朝日町に魅力を感じて来てくれた人達には生涯の定住を選択してもらえるよう受け入れる我々が積極的に動いていかないと、このままでは思った以上に定住者が増えないと感じているので、愛媛地域政策研究センターの取組みを参考に当町の移住者に定住してもらえるよう尽力していきたくと思います。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	2
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	135,300円	支出年月日	令和2年3月13日
支出内容	自民クラブ通信 Vol.5 (5,000部)印刷代		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

領 収 証 000906

自民クラブ 様 令和2年3月13日

135,300-

但し、印刷代として
上記の金額正に領収いたしました。

内	印刷物代金	¥
訳	消費税	¥

株式会社 印刷
代表取締役 寛
〒938-0802 富山県新井市 54-0120

取扱者印

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

調査研究・研修・その他活動 実績報告書

実施年月日	令和2年3月13日	会派名	自民クラブ	
活動項目	<input type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 研 修 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> その他(広報)			
活動参加者	水野仁士、西岡良則、加藤好進、石原孝之、寺西泉、大久保光太 計6名			
経費の項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費			
活動内容等 (視察・会議 等の概要・目 的・内容・調 査結果等)	会派活動内容の広報のため、町内全戸に配布する。 自民クラブ通信 Vol.5 (5,000部)			
上記活動に 要した経費	支出内容	積算の内訳(支出先等)	支払額	領収書番号
	印刷代	自民クラブ通信 Vol.5	135,300	2
備考				

領収証等添付用紙

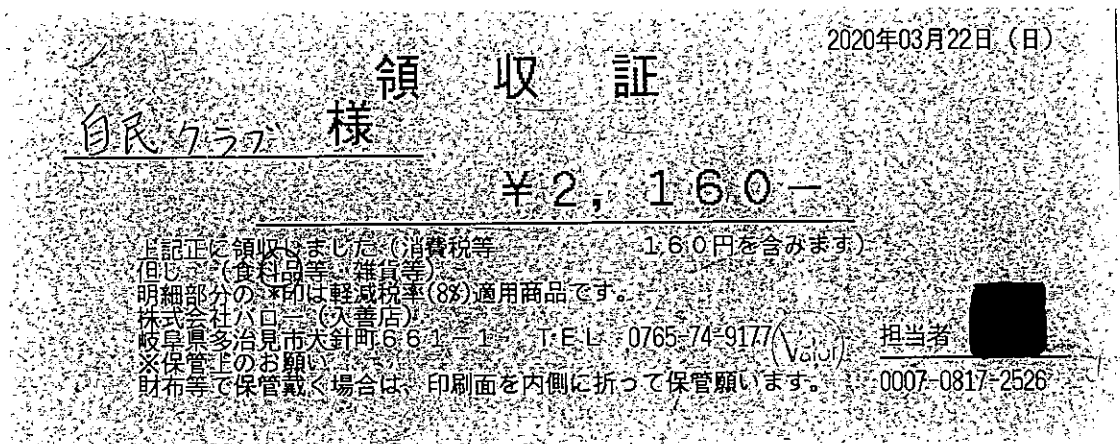
令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-1
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	2,160円	支出年月日	令和2年3月22日
支出内容	手土産代 (1,080円 × 2個)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。



※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-2
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	5,230円	支出年月日	令和2年3月24日
支出内容	高速料金 (朝日→安田)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 安田

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5338-7524

20年 3月24日 12時57分

車種 普通

通行料金 ¥5,230-

(現金)

—入口料金所— 朝日

高速道路上で停止車両を見聞きした際は、
停止車両や人に注意しながら安全走行を!

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号207-00310925-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-3
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	39,000円	支出年月日	令和2年3月25日
支出内容	新潟東映ホテル宿泊代 (6500円×6名)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

No. 812-1

請求・領収書

お名前 (Name)

RECEIPT

自民クラブ

様

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		39,000



NIIGATA TOEI HOTEL

新潟東映ホテル

〒950-0901 新潟市中央区南万代1-6

TEL 025(241)7101(代表)

FAX 025(241)7103



発行月日 (Issue)

2020/03/25

(内消費税 3,540円)

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

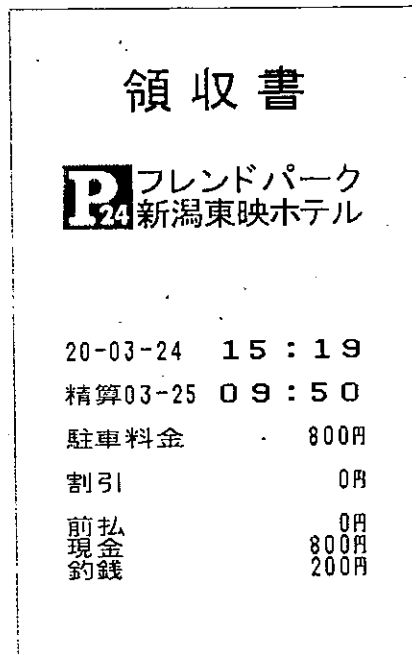
令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-4
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	800円	支出年月日	令和2年3月25日
支出内容	ホテル駐車場代(新潟東映ホテル)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。



※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-5
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	2,030円	支出年月日	令和2年3月25日
支出内容	高速料金（新潟西第一→小千谷）		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 小千谷

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5338-7524

20年 3月25日 12時22分

車種 普通

通行料金 ￥2,030-
(現金)

—入口料金所— 新潟西第一

通行料金は消費税率10%対象です。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号201-00431140-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-6
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	8,404円	支出年月日	令和2年3月25日
支出内容	3/25 昼食代		
備考	上記のうち、7,800円を政務活動費の対象とする。		

領収証等添付欄

2020年03月25日(水)

14時56分

※領収証は重ならないように添付すること。

領 収 書

7

	様
2010730002258 和風ハンバーグ	¥1,210
2010730002210 厚切りポーク	¥1,430
2010730002227 かつ丼	
@1,518×2	¥3,036
2010730002203 ロースカツ	¥1,320
2010730002234 カツカレー	¥1,408
小計	¥8,404
令頁又客頁	¥8,404-
(内課税10%)	¥8,404
(内消費税10%)	¥764
(消費税計)	¥764
(税抜合計)	¥7,640

YOHEYAMA **洋膳屋** ROYAL

ロイヤル空港高速フードサービス株式会社
新潟県柏崎市大字鯨波字若宮 甲178番地2
北陸自動車道米山サービスエリア(上り線)
TEL: 0257-22-7070

収入
印紙

ロイヤル空港高速フードサービス(株)
新潟県柏崎市
大字鯨波字若宮甲178番地2
0257-22-7070

お願い
この領収書は感熱紙のため
保管には充分ご注意ください。

レシートNO.000026 ｼﾞﾀﾞ:0006
担当:平倉正明 店:0073

代として上記金額正に領収いたしました

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙


令和元年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-7
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	4,350円	支出年月日	令和2年3月25日
支出内容	高速料金（越後川口→黒部）		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

8
 ご利用ありがとうございます。

 料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 黒部
 お問い合わせは、中日本お客さまセンター
 フリーダイヤル 0120-922-229
 上記番号をご使用になれないお客さまは
 TEL 052-223-0333 (有料)
 20年 3月25日16時50分
 車種 普通
 通行料金 ¥4,350-
 (現金)
 一入口料金所 越後川口
 通行料金は、消費税等10%対象です。
 中日本高速道路株式会社
 愛知県名古屋市中区錦2-18-19
 取扱番号210-00081412-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。


領収証等添付用紙

令和元年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	3-9
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	39,600円	支出年月日	令和2年3月25日
支出内容	レンタカー代		
備考			
領収証等添付欄		※領収証は重ならないように添付すること。	

領 収 書 自民クラブ 様 領 収 金 額 39,600 円 (内消費税 3,600 円) トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。 ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。 (なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です) 営業店舗 黒部宇奈月温 住 所 黒部市若栗3255 電話番号 0765-52-0100 株式会社トヨタレンタカー 富山 本社 富山県富山市千歳町二十丁目5番26号	領収書N. 0155187 令和 2年 3月25日 Receipt 現金・小切手 39,600 円 クレジット 0 円 交通系IC 0 円 収入印紙 扱者印
---	---

 Toyota Rent-a-Car is an official rental car partner of Hertz. Should you have any questions regarding this Rental Agreement/Receipt, please do not hesitate to ask the Toyota rental counter staff, or contact your home country's Hertz Customer Service Center. Thank you for renting from Toyota and Hertz.

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。
 ※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

令和2年自民クラブ行政視察研修報告

水野仁士

自民クラブは3月24日～25日に渡り視察研修へ行って参りました。

1 日目

新潟県阿賀野市 新潟東部太陽光発電所

朝日町にも民間で再生可能エネルギー建設プロジェクトチーム立ち上げの動きがあり洋上風力発電を目ざしています。再生可能エネルギーは太陽光、水力、風力のような自然界に存在するエネルギーを利用したものです。ここはもともと県の造成で県が工場誘致のための敷地であった。

しかしバルブがはじけたり、リーマンショック等で企業誘致に結びつかなかった。そこで県はこの敷地を利用したい要綱発電事業に乗り出し、

太陽光発電所1号系列を設置 H23年10月に営業運転開始

- 敷地面積 3,2ヘクタール
- 工期 H22年8月～H24年1月
- 工事費 430,50万円
- 営業運転 H24年7月

太陽光発電所2号系列を増設 新潟県として循環型社会作りを加速させる為
隣接地に設置

- 敷地面積 3,2ヘクタール
- 工期 H23年9月～H24年9月
- 工事費 409,50万円
- 出力 1メガワット

太陽光発電所 3号系列を工事(H24年 12月)

- 敷地面積 45 ヘクタール
- 運転開始 H7年 7月
- 工事費 6,738 百万円
- 出力 15 メガワット

以上のような説明を受け、3つの系列を合わせると51,4ヘクタールという広い敷地であり、見渡す限りのパネル、パネルに太陽光発電所には相当な広い敷地が必要であり同じく風力発電にもこれに相当する広い敷地が必要なのだと・・・。

2日目

新潟市寺山^{公園}後援子育て交流施設「いーてらす」

寺山公園に併設された子育て交流施設で「遊ぶ」「つながる」「楽しむ」を理念とした育児支援と子育て世代地域の世代間交流の推進を目的としている。建物の中は

「交流ゾーン」 休憩、飲食が出来る

「子育てゾーン」 赤ちゃんコーナー（調乳、授乳室有り）0歳～未就学児
幼児ひろば 小学生1年生～3年生

の利用が出来ます。また予約ですが一時保育も行なっているようである。わが朝日町にも公園と併設されたこのような施設があつてよいかなあと感じた。

朝日町議会自民クラブ
西岡良則

朝日町議会自民クラブ6名は、令和元年度政務活動費を活用させていただき、3月24日、25日の両日にわたり新潟県阿賀野市、新潟市東区、小千谷市において行政視察研修を行ってまいりましたので報告いたします。」

【3月24日新潟県阿賀野市 新潟東部太陽光発電所】

視察内容 太陽光発電メガソーラーの設置について

新潟県企業局では、低酸素社会の実現に有効な再生可能エネルギー源の確保や、今後成長が見込まれる新エネルギー関連産業の育成に向けたグリーンニューディール政策の取り組みの一環として、また、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の適用施設として平成23年10月31日から営業運転がなされております。平成27年7月1日に運転を開始した3号系列では、敷地面積45ヘクタール、年間売電電力量20,300MWhで一般家庭約6,000軒分となり年間売電収入は8億1千2百万にもなっております。

設備の特徴としては、経済性の高い設備構成として「太陽電池パネルの向きは全て真南向き」、「太陽電池アレイの南北間隔を短くし、設置容量を増加」「PCS容量を上回る太陽電池アレイの配置」がなされるとともに、雪国型気候を考慮した設計になっていること、また、地域への貢献として積極的な県内資材の調達への取り組みや地元工事業者を活用することにより地元企業の活性化につながる工事体制が図られておりました。

【3月25日午前 新潟県阿賀野市 寺山公園、子育て交流施設「い〜てらす」】

視察内容 寺山公園、子育て交流施設「い〜てらす」について

新潟市東区にある「寺山公園」は新潟市東総合スポーツセンターに隣接する広大な緑地に整備された公園で、敷地内は4つのエリアに分けられております。大型遊具や幼児向け遊具がある「腕白広場」、いろいろな遊びができる「多目的広場」、ピクニックなどにぴったりの「芝生広場」、屋内で遊べる子育てファミリーのための施設「い〜てらす」のある「ちびっこ交流広場」からなっております。

今回の視察では残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大の影響により子育て交流施設「い〜てらす」が休館となり、入館することができず外観のみの視察となりました。

しかしながら、寺山公園では平日にもかかわらず多くの親子連れが訪れられており、朝日町においても泊駅南土地地区画整理事業地内に松倉基金を活用した公園整備がなされる予定になっており、遊具や公園敷地など町における今後の公園整備について大いに参考となる視察でありました。

【3月25日午後 新潟県小千谷市 おぢやラインガルテンふれあいの里】

視察内容 おぢやラインガルテンふれあいの里について

市民の憩いの場として、また電気のふるさと信濃川を学習できる施設として2016年にオープンし、遊び・キャンプ・合宿など多様な量が可能で学習・交流の拠点ともなっている市民の家・小千谷信濃川水力発電館を訪れましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により当日より休館となっており、キャンプ場などの施設見学のみとなりました。

次に視察に訪れた「おぢやラインガルテンふれあいの里についても施設の外観だけでも見学をすることにしておりましたが、管理棟の職員の方や視察に来ていることを聞きつけ小千谷市議会事務局の目崎主任、観光交流課の増川係長が現地においてになり懇切丁寧な説明を受けることができました。

おぢやラインガルテンふれあいの里はU・I・Jターンや起業など、移住・定住を促進する情報発信や相談体制の充実、都市間と地域間交流人口の拡大を目的に簡易宿泊施設付貸し農園として平成19年度、20年度に30区画が設置(簡易宿泊施設30棟、専用農園は各200㎡)されたものです。

利用状況については、平成19年から101組の方が利用されており、その内県外利用者は71組、延べ利用者数が66,798人になっておりました。

また、管理運営については、地元住民が中心となったおぢやラインガルテンふれあいの里管理組合に委託がなされ、施設管理や農業指導、交流事業がなされております。

主な交流事業としては、土づくり教室、山菜収穫と料理教室、交流パーティー、野菜栽培講習会、ホテル観賞会、納涼祭・収穫祭、しめ縄作り体験やそばの種まき・収穫・そば打ちまでのそば体験など多種多様な事業が展開されております。

朝日町においても新規就農者等研修宿泊施設が完成しており、今回視察した「おぢやラインガルテンふれあいの里」のような交流事業の開催や短期の体験宿泊施設としても大いに活用すべきと考えております。今回の視察研修は、新型コロナウイルスの感染拡大により多難なものでありましたが、実のあるものであり、今後の議会活動に活かしてまいりたいと思っております。

自民クラブ 行政視察研修報告書 朝日町議会議員 加藤 好進

1. 行政視察年月日 2020年 3月24日～25日

(1) 視察場所 第1日 3月24日 新潟県阿賀野市 新潟東部太陽光発電所 (午後)

第2日 3月25日 新潟県新潟市 寺山公園 (午前)

3月25日 新潟県小千谷市 クラインガルデンふれあいの里 (午後)

2. 概要

第1日 新潟東部太陽光発電所について

応対者：阿賀野市役所商工観光課：久保田 説明者：小林

・新潟東部太陽光発電所は、新潟県企業局が低炭素社会の実現に有効な再生可能エネルギー源の確保、循環型社会づくりの推進として、新潟県東部産業団地 (約50ヘクタール) に太陽光発電所を建設する。

建設設備

- 1) 平成23年10月31日に1号系列発電→最大出力1メガワット。
- 2) 平成24年7月1日に2号系列「固定価格制度の適用施設」として発電→最大出力1メガワット。
- 3) 平成27年7月1日には3号系列→15メガワット発電。3系列合計17メガワットの発電施設となる。
- 4) 建設事業費 → 約76億円 (1号、2号、3号)
- 5) 売電先 → 東北電力株式会社

所感

・この施設の最大の特徴は、自治体が設置する初めての発電事業用メガソーラーである。敷地面積は1号、2号それぞれ約3.2ヘクタール、3号約4.5ヘクタールを合わせた総敷地面積は約50ヘクタールと広大である。設備的には、日本海側内部の積雪に適した設計で高い発電電力を目指した設計となっている。) 例えば、夏季と冬季で設置角度を変更できる可変式架台の採用、積雪とパネルからの落雷を考慮した架台高さ (1.8m) 採用、パワーコンディショナーの設備を設置し稼働率の向上等工夫がされている。新たに稼働した3系列を含めて2012年度に固定価格買取制度の認定を受けているため、1kwhあたり40円 (税抜き) の買取価格で売電することができ、年間売電収入は9億円になり、20年間の累計では180億円を得られる見通しだ。しかし、年間約21.3メガワット発電があるのに15メガワットの送電で、余剰電力として約8メガワットのロスがある。近くには農業ハウスや企業があり有効活用が求められる。(蓄電池設備なし) また、近年一般家庭、産業問わずに買取価格の低下や電力制限措置があり、収益の低下・設備面等で懸念される。

第2日 寺山公園 (新潟市) 視察 (午前)

所感

・平成30年4月、公園面積46,000平方メートル「緑に囲まれた健康・交流・子育て広場」をコンセプトとして、多世代の健康づくり、子育て支援機能を兼ねた公園で園内には運動や遊び、レクリエーションに利用できる広場、花や緑にあふれる散策路、雨や雪、真夏の炎天下などの天候を気にせずに利用できる全天候型屋根付き子育て交流施設 (い〜てらす) がある。当日は好天の中親子、

高齢者など多くの人達が利用されていた。現在、泊駅南土地区画整備事業に「松倉基金を活用した公園計画」がある。入善町の中央公園リニューアル計画に「屋内多目的施設」建設もありこれらも参考に当町にふさわしい公園建設を目指したい。

新潟県小千谷市 クラインガルデンふれあいの里 (午後)

・ 応対者：小千谷市観光交流課 地域振興係 副参事・係長 増川 雅史

小千谷市議会事務局 主任 目崎 春樹

・ 全体面積 約11ヘクタール、主な施設としては、①滞在型農園（簡易宿泊施設付貸し農園）30区画、年間利用料403,330円、1年ごとに利用、5年（条件付きでプラス3年）まで更新可能、1区画300平方メートル、専用農園200平方メートル、簡易宿泊施設延床面積40平方メートル、高床落雪一部2階建て（キッチン・バス・トイレ・エアコン・ロフト・農機具収納スペース）ファミリータイプ（A棟）とシニアタイプ（B棟）の2タイプがある。

②日帰り農園84区画、年間使用料9,770円、1区画50平方メートルの他管理棟などが整備されており、その総事業費は6億9,900万円（国、県、市からの補助事業費5億4,000万円）と（市単独事業費1億5,900万円）である。自然豊かな景色のなかで、田舎暮らしに興味があり将来は移住を考える人たちの体験施設となっている。

所 感

・ いつかは田舎に定住したいと希望のある人たちにとって、滞在型農園は年間利用料が約40万円と安価である。過去の利用状況は平成19年が15/30区画、翌年からは30/30区画を推移し平成30年は25/30区画と利用率が高い。また、平成19年度～平成30年度末時点で101組が利用（県外71組）、延べ利用者数は66,789人となっており、小千谷市へ定住が2組、近隣市町村へ3組の実績となっている。東京からのアクセスが近いことから、関東圏の人たちが別荘感覚で利用されている人いると察する。また、定住サポートの取組みについては、空き家紹介（市内の中古住宅など）、住宅取得補助金制度（市内移住者に最大8.0万円）があるが、当町の移住・定住施策が充実しているように思えた。今年度より、移住定住拠点施設こすぎ家の営業時間、曜日、人員等がこれまでの実績から変更になったが、最終的には生活の糧になる仕事、魅力ある人との出会いが大きく影響するものと思われる。

新潟県行政視察研修報告書

朝日町議会自民クラブ 石原孝之

1. 行政視察行程 令和2年3月24日(火)～3月25日(水) 2日間
2. 視察先/視察目的
 - ・1日目 3月24日(午後) 新潟県阿賀野市役所
新潟県東部太陽光発電所施設について
 - ・2日目 3月25日(午前) 新潟県新潟市議会
寺山公園子育て交流施設「い～てらす」
3月25日(午後) 新潟県小千谷市議会
クラインガルデン ふれあいの里

3. 視察内容

1日目 新潟県阿賀野市 新潟県東部太陽光発電所について

経緯 再生可能エネルギー導入により、低炭素社会・環境型社会づくりを推進
新潟県企業局では、電気事業の新たなメニューとして、太陽光発電事業に取り組むこととし、1メガワット(1,000KW)の新潟県東部太陽光発電所(1号系列)を設置し、平成23年10月31日に営業運転を再開。
東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を受け、新潟県として循環型社会づくりを加速させるため、隣接地に新たに1メガワットの太陽光発電設備(2号系列)を増設。
2号系列は、平成24年6月22日に「再生可能エネルギーの固定価格買取制度の適用施設」として認定され、平成24年7月1日に営業運転を再開。

設備概要	1号機	2号機
敷地面積	3.2ha	3.2ha
最大出力	1メガワット	1メガワット
年間発電電力量	992MWh(一般家庭約300軒分)	1,125MWh(一般家庭約350軒分)
建設工事費	4億3千五十万円	4億9百五十万円
売電先	東北電力株式会社	東北電力株式会社
特徴	夏季と冬季で設置角度を変更できる可変式架台(冬季40度/夏季20度) 架台高さ1.8m 落雪を考慮	太陽電池モジュールの容量を25%増し 1.25メガワットとし高い年間発電量確保 パネルの傾斜角度30度 架台高さ1.8m

2日目 新潟市東区寺山1653番地 (午前) 寺山公園 子育て交流施設「い～てらす」

・寺山公園

概要	公園面積 4.6ha (46,000㎡)	公園種別 地区公園
	総事業費 27億円	オープン 平成30年4月
	主要施設 園路1週約770メートル	遊具 大型複合遊具
	防災テント 東屋になるテント、かまどベンチ(5箇所)、防災トイレ(5箇所)	
	駐車場 108台	

・子育て交流施設

概要	延べ床面積 1,357.79㎡(1階1,331.73 2階26.06㎡)
	建物規模 鉄骨造り 平屋建て(一部2階建て)
	利用料 無料

基本理念「遊ぶ」、「つながる」、「楽しむ」

寺山公園は、子育ての交流施設と休憩施設からなる複合施設「い〜てらす」があり、天候に関係なく年間を通して利用できる、子育て世代や多世代の交流の拠点となる新しい公園です。

屋内施設には、子育て支援ゾーンと交流ゾーンがあります。子育てゾーンには、幼児ひろば、低学年ひろば、学びと交流のエリアに分かれています。各広場ごとに、滑り台や、ボルダリング、ネットクライミングなどの大型遊具が設置されております。交流ゾーンでは、お昼の時間帯は、飲食コーナーで食事が可能となっており、椅子やテーブル、自動販売機、トイレが設置されており気軽に立ち寄れる場所となっています。

公園内には、芝の広場(面積8,300㎡)、多目的広場(面積5,700㎡)、わんぱく広場(面積8,300㎡)、多目的広場(面積8,300㎡)がテーマごとに造られています。

広域避難場所にも指定されており、防災テントになる東屋・ブランコやかまどベンチ、防災トイレなどの防災設備を有し、市民の安全を確保する役割も担っております。

隣接するスポーツセンター等とも連携し、多様な健康レクリエーションの場にもなっています。

朝日町においても、公園の整備が予定されておりますが、しっかりとしたテーマを持ち幅広い年代に楽しんでもらえる公園を造らなければならないと思います。

2日目 小千谷市大字塩殿甲1814-2

(午後) おちやクラインガンドル ふれあいの里 (クラインガルデン=ドイツ語で「小さな庭」)

絶好のロケーションであこがれの田舎暮らししてみませんか？

施設概要 全体面積 約11ha 主な施設 滞在型農園、日帰り型農園、多目的広場、バラ園、他
滞在型農園(簡易宿泊施設付き農園)

- ・30区画 ・年間利用料 403,330円(1年ごとに利用 5年(条件付きでプラス3年)まで可能)
- ・1区画300㎡ 専用農園200㎡ ・ラウベ(簡易宿泊施設)延床面積40㎡ 高床落雪一部2階建て(キッチン、バス、トイレ、エアコン、ロフト、農機具スペース)
- ・ファミリータイプ(A棟)とシニアタイプ(B棟)の2タイプ
- ・水道光熱費は別途必要

日帰り型農園

- ・84区画 ・年間使用料 9,770円 ・1区画 50㎡

自民クラブ 行政視察研修報告書

朝日町議会議員 寺西 泉

1 行政視察の日程及び視察内容 令和2年3月24日(火)～25日(水)

(1) 3月24日 午後 新潟県阿賀野市 新潟東部太陽光発電所

建設経緯、設備概要、課題等について

(2) 3月25日 午前 新潟県新潟市 寺山公園子育て支援交流施設「いーてらす」

建設経緯、活用方法、課題等について

(3) 3月26日 午後 新潟県小千谷市 クラインガルデンふれあいの里

建設経緯、利用状況、課題等について

2 所感

(1) 新潟東部太陽光発電所

新潟県企業局では、新潟版グリーンニューディール政策(低炭素社会の実現に有効な再生可能エネルギー源の確保や今後の成長が見込まれる新エネルギー関連産業の育成に向けた取組)の一環として平成23年10月に最大出力1メガワットの新潟東部太陽光発電所1号系列を建設した。その後、平成24年7月に最大出力1メガワットの2号系列、平成27年7月に最大出力15メガワットの3号系列を建設し、現在に至っている。1号系列から3号系列を合わせた最大出力は17メガワットとなり、一般家庭約6,650軒分の電力量となっている。敷地面積は約50haである。

朝日町においてもサンリーナそばにある町有地に太陽光発電システムを建設する予定であり、今後、再生可能エネルギーの更なる建設が想定される。また、町民の有志の方々が、再生可能エネルギープロジェクトチームを設立し、町おこしを起爆剤として行動を起こしている。朝日町として、補助金活用や費用対効果等を慎重に検討しながら、今後の方向性を考える必要があると考える。

(2) 寺山公園子育て支援交流施設「いーてらす」

寺山公園は、総事業費約 27 億円をかけて、平成 30 年 4 月に敷地面積 4.6ha の施設としてオープンした。「緑に囲まれた健康・交流・子育ての場」をコンセプトとしている。施設内には、「元気に遊べるわんぱく広場」、「安心、ゆったり、ちびっこ交流広場」、「おもいっきり遊べる芝の広場」、「いろいろ使える多目的広場」、「子育て交流施設いーてらす」が存在し、多様な活用方法に対応できる形となっている。さらに、隣にはスポーツセンターがあり、多様な健康レクリエーションの場にもなっている。

朝日町においては、泊駅南土地地区画整理事業に「松倉基金を活用した公園」の計画が予定されている。また、入善町においては、中央公園に「屋内多目的施設」の建設が予定されている。これらを参考にしながら朝日町に相応しい公園建設を目指したいと考える。

(3) クラインガルデンふれあいの里

クラインガルデンふれあいの里は、総事業費約 4.3 億円をかけて、平成 19 年にオープンした。主な施設としては、①滞在型農園(簡易宿泊施設付き貸農園) 30 区画、年間使用料 403,330 円、1 区画 300 m²、専用農園 200 m²、簡易宿泊施設延床面積 40 m²、高床落雪一部二階建て、キッチン、バス、トイレ、エアコン、ロフト、農機具収納スペース、5 年(条件付きでプラス 3 年)まで更新可能、②日帰り型農園、84 区画、年間使用料 9,770 円、1 区画 50 m²、③管理棟、④その他(駐車場、調整池、多目的広場、遊歩道等)が存在する。

小千谷市は、東京から車で約 2 時間 20 分の位置にあり、都会の方が別荘感覚で利用されているようである。ただ、平成 19 年のオープン当初は、多数の方が応募され抽選だったようであるが、10 年以上が経ち、徐々に応募される方が減りつつあるということであった。移住定住対策の難しさを感じさせられた。

自民クラブ 行政視察研修 報告書

令和2年3月24日

新潟県 阿賀野市 かがやき地内

新潟東部太陽光発電所については、自治体が設置する全国で初めての発電事業用メガソーラーとして営業運転が開始されております。設備の設置経緯として1号系列、2号系列、3号系列に分かれており全ての系列を合わせた総面積が約51.4haにもなる巨大面積を有しております。本来の目的であった企業誘致のために用意した土地であったが、誘致の先行きが見えないと判断したのちに方針を一気に転換した政治判断は見習うべきものであり、将来の朝日町にも応用できる事例であると理解しました。また別の課題として日本国内の発電量は現在十分に満たされており、自然エネルギーを大量に生産する緊急性が薄いのが現状であり、電力会社との調整や費用対効果の実績が大きな課題となるでしょう。朝日町においては国の有利な事業を有効に活用しながらの太陽光発電事業に参入してきており、今後は幅広い情報を得ながら議論を深めていく必要があると思います。

令和2年3月25日

新潟市 東区 寺山公園いーてらす

いーてらすについては寺山公園内にオープンした子育て施設であり、「遊ぶ」、「つながる」、「楽しむ」を基本理念としており子育て支援、子育て世代の交流、地域の世代間交流の推進を目的としている施設として、公園の芝生広場を十分な面積を確保し、中央部には多彩な遊具を集約させ自然に交流が深まるような狙いを感じることができました。施設内部については臨時休館であったため中を視察することができませんでしたが、多くの親子が平日にもかかわらず楽しんでいたのが印象的でした。朝日町は子育て応援日本一を目指す自治体として、こうした公園の新たな開設

も必要になってくると考えますし、現在進行中の泊駅南整理事業にも新たな公園計画があるので、こうした情報を活用できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

令和2年3月25日

新潟県 小千谷市 おじやクラインガルテンふれあいの里

この施設は「小千谷市農村振興基本計画」を策定された中で、農村都市共生を実現する1つの事業として具体的に実践された施設であり、私は初めて目にする光景でした。ここは滞在型農園と日帰り型農園に分かれており、農園の区画はもとより滞在型農園の方の為にラウベと呼ばれる簡易宿泊施設が30区画用意されており、年間契約で都市部から好きな時に利用できるシステムとなっていて、自由度が尊重されている素晴らしい施設であります。実際の利用数も8割以上が埋まっており、年間を通したイベントや交流会を通して将来の移住に繋げていこうという自治体の思いが具現化しているといふと感じることができ、朝日町でも応用できるヒントをいただきました。こうした知恵を絞った施策を実施している自治体をしっかり勉強し、朝日町の今後の施策に繋げていきたいと思ひます。